

26年度

予算を可決

第1回定例会
で
決まりました



石塚町長が予算案を提出

26年度の予算にあたり、町長からは、「歳入では、町税は、若干の増額を見込んでいるが、景気の下げ止まりによってもたらされたものが大きいと考える。また、町債の発行や、財政調整基金などで一般財源を補てんする基金繰入は抑制する。歳出では、将来都市像「みらいに ずっと ほこれるまち」の実現に向け、継続性のある戦略的な取組みを展開し、限りある財源を最大限に有効活用し、すべての施策において、必要性や有効性を検証し、効率的かつ実効性の高い施策構築を基本とした。」との説明がありました。

おもな事業

- ・「寄り合いハウスいこい」の地域協働運営
- ・寝たきり高齢者の介護タクシーサービス事業
- ・瑞穂中学校の校庭芝生化
- ・瑞穂第二中学校空調設備機能復旧工事
- ・寡婦（夫）みなし控除の導入
- ・図書館の祝日開館（試行）
- ・新郷土資料館建設
- ・「協働宣言」の策定
- ・小学校放課後補習事業
- ・道路照明の一部LED化



芝生化が予定されている瑞中校庭

各会計の予算額

会計名	予算金額	前年度比	
一般会計	140億1,480万0,000円	3.3%減	
特別会計	国民健康保険	40億5,102万1,000円	2.2%増
	駅西土地区画整理事業	8億1,519万8,000円	5.4%減
	下水道事業	8億6,795万2,000円	7.1%減
	介護保険	19億3,888万3,000円	0.1%増
	後期高齢者医療	5億4,036万1,000円	7.6%増
	殿ヶ谷財産区	437万3,000円	2.7%増
	石畑財産区	1,907万4,000円	5.8%減
	箱根ヶ崎財産区	676万5,000円	3.9%増
長岡財産区	70万2,000円	4.8%増	

今回の議会には、平成26年度一般会計・各特別会計の予算が提案されました。予算特別委員会での審査後、本会議において、一般会計を賛成多数で、また、その他の特別会計については全会一致で可決しました。

予算特別委員会での審査

～議員から236件の質疑～



予算特別委員会での審査の様子

町側からの提案を受けた議会で、直ちに予算特別委員会を設置し、委員長に高水永雄議員、副委員長に谷四男美議員を選出。議長を除く15名により、3日間にわたって審査を行い、議員からは延べ236件の質疑がありました。本会議では、一般会計予算について、賛成・反対の討論が行われ、起立採決の結果、賛成14名、反対1名で可決しました。9件の特別会計については、すべて全会一致で可決しました。

各議員の賛否は8ページに記載

一般会計予算における予算特別委員会質疑のピックアップを4～5ページに掲載しております。



起立採決の様子

賛成
一般会計については、次のとおり賛成・反対の討論が行われました。（要約）

小山 典男 議員

依然、厳しい財政運営を強いられる中で、限られた財源を最大限に有効活用して、真に必要な施策に取り組み姿勢が伺える。主な施策としては、瑞穂中学校校庭芝生化工事、さやま花多来里の郷駐車場整備、防犯カメラやLED灯の設置、中央体育館・地区会館の耐震診断の実施、寝たきり高齢者の介護タクシーサービス事業、新郷土資料館の完成などがあげられるが、各種、各分野にバランスのとれた予算配分となっている。また、消費税率8%にも対応した予算計上となっている。

反対

大坪 国広 議員

4月からの消費税導入は、多くの住民や中小企業に対して二重の苦しみを与える事になる。介護保険料・サービス利用料の町独自の軽減策や在宅寝たきりの人達に手厚い支援策を実施するべき。少子化対策を重視し、子ども医療費完全無料化や児童館建設を検討するべき。また、保育園の待機児童対策0歳から1歳児対策を実施するべき。栗原地区の区画整理は、新駅構想の見通しがつくまで、「一時凍結するべき」であり、都道179号線の歩行者の安全対策を早急に実施するべきである。